

令和4年度 大崎市民ギャラリー緒絶の館 企画展
「顔」の美術館 企画書

開催趣旨

大崎市民ギャラリーでは開館以来、美術が身近なものであることをわかりやすくするため、美術と生活との関わりをテーマとした独自の企画展を開催している。今回は、歴史に名を残す人物の銅像や肖像画、あるいは地域に伝わる歴代村長や学校の歴代校長の肖像画など、身近にある肖像に着目し、絵画や彫刻による「肖像」の作品展を開催する。

写真のない時代に、権力者や英雄などの象徴として、あるいは先祖代々の歴史など、後世に伝える記録としての役割を担ってきた人物画や銅像などの肖像が、今では家族や友人などの身近な存在を題材に、美術作品として表されることが主流となっている。本展では、記録が目的だった肖像が、どのようにして芸術作品として表現されるようになったのかを紹介する。

さらに、吉野作造や鎌田三之助といった、大崎地域の歴史上の人物の肖像を紹介することで、地域の文化資源を改めて再認識するとともに、新たな地域文化の発見を期待するものである。

1. 展覧会名 「顔」の美術館 ーあの人、この人…さまざまな肖像表現
2. 会 期 令和4年12月2日（金）～12月18日（日）17日間 会期中無休
3. 開館時間 午前10時から午後5時まで
4. 会 場 大崎市民ギャラリー緒絶の館（宮城県大崎市古川三日町一丁目1番1号）
第1・2・3展示室
5. 主 催 大崎市教育委員会
6. 後 援 河北新報社・大崎タイムス社・大崎市文化協会
7. 協 力 宮城県美術館・大衡村ふるさと美術館
8. 観 覧 料 無料
9. 展示内容 絵画・彫刻等 約30点
10. 関連事業 ○みんなの「顔」展：肖像画を一般募集し、会期中に展示する。
会場：回廊ギャラリー
○ワークショップ：「顔」を描こう！12月11日（日）
講師：阿部仁文